

科目名	校外研修 2						年度	2026	
英語科目名	Off-campus Training 2						学期	後期	
学科・学年	情報処理科 1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	小高、齋藤		教員の実務経験	有	実務経験の職種	システムエンジニア（小高）、プログラマ（齋藤）			
<p>【科目の目的】 IT業界は絶えず進化しており、入学時には最新とされた技術が、卒業する頃にはすでに古くなっていることも少なくない。したがって、自分が目指す仕事に必要な技術を常にアップデートし、新たに身につけるべきスキルを確認しながら、目標に向かって努力を続けることが求められる。 本講義では、IT関連の展示会や講習会に参加し、最前線のIT企業が提供するサービスや製品について知る機会を設けている。これを通じて、自分の目標や将来像を新たに見つめ直すきっかけとするとともに、就職活動で重要なコミュニケーション能力も、企業への質問ややり取りを通じて養う。</p>									
<p>【科目の概要】 校外で開催されるIT展示会や講演会に参加し、最先端のIT企業が提供するサービスや製品を把握し、それを自身のキャリアに反映させることを目的としている。参加前には、出展ブースや講演内容について事前に調査し、疑問点を資料にまとめておくことで、効果的な学習体験とする。展示会や講習会後には、学んだ知識を整理し、人前で発表することで、情報を正確に伝える力も養う。</p>									
<p>【到達目標】 イベント参加前には、各ブースの出展情報や巡回の順番、説明資料に関する疑問点を検討し、内容を資料としてまとめる力を身につける。イベント参加中には、企業の説明をメモを取りながら聞き、疑問点があれば相手にわかりやすく質問を行い、社会人としての適切な立ち振る舞いを意識することが求められる。さらに、イベント後には、得た情報を整理し、他者に伝わるよう資料にまとめ、説明することができるようになることを目指す。</p>									
<p>【授業の注意点】 研修の有意義な実施を目指し、積極的な参加姿勢、特に質問や理解を深めるための対話を重視する。また、社会への移行を見据えた受講マナーを求め、研修への参加態度にも重点を置く。なお、授業時数の4分の3以上に出席していない場合、成績評価は行わない。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について十分な検討を行い、わかりやすく資料化することができる		ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について検討を行い、資料化することができる			ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について検討を行わず、資料化することができない			
到達目標 B	イベント参加時に企業の説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関して相手に伝わるように質問し、資料化に必要な情報を適切に得ることができる		イベント参加時に企業の説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関して質問することができる			イベント参加時に企業の説明をメモを取らず、疑問点に関して相手に伝わるように質問することができない			
到達目標 C	社会人になる立場として適切な立居振舞が常にできる		社会人になる立場として適切な立居振舞が最低限できる			社会人になる立場として適切な立居振舞ができない			
到達目標 D	イベント参加後にイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に分かりやすくかつ効果的に説明することができる		イベント参加後にイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に説明することができる			イベント参加後にイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に説明することができない			
到達目標 E									
<p>【教科書】 授業で使用する資料を配布する。参考書や参考資料については、授業中に適宜指示する。</p>									
<p>【参考資料】</p>									
<p>【成績の評価方法・評価基準】 授業内容の理解度を確認するためにレポート作成を行う。授業時間内に行われる発表方法や内容について評価する。</p>									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		校外研修 2			年度	2026
英語表記		Off-campus Training 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	事前に準備しておくべきことを理解できる	1 イベント参加方法	イベントの趣旨、参加方法、参加態度について理解する	3	
			2 調査方法	必要な情報を得るための調査方法を身に着ける		
2	事前準備(1)	出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる	1 出展ブース事前調査(1)	出展ブースの企業、製品について理解する	3	
			2 出展ブース事前調査(2)	出展ブースの企業、製品について疑問点を洗い出す		
3	事前準備(2)	出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる	1 出展ブース事前調査(1)	出展ブースの企業、製品について理解する	3	
			2 出展ブース事前調査(2)	出展ブースの企業、製品について疑問点を洗い出す		
4	事前準備(3)	出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる	1 出展ブース事前調査(1)	出展ブースの企業、製品について理解する	3	
			2 出展ブース事前調査(2)	出展ブースの企業、製品について疑問点を洗い出す		
5	企業説明へ参加(1)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
6	企業説明へ参加(2)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
7	企業説明へ参加(3)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
8	企業説明へ参加(4)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
9	企業説明へ参加(5)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
10	企業説明へ参加(6)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
11	企業説明へ参加(7)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
12	企業説明へ参加(8)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
13	資料作成・発表(1)	校外研修の内容を資料にまとめ、発表する	1 報告作成方法	入手した情報を整理しまとめる力を身に着ける	3	
			2 報告作成	入手した情報について体系的に整理し知識を定着させる		
			3 報告発表	入手した情報を他者に効果的に説明、発表できる		
14	資料作成・発表(2)	校外研修の内容を資料にまとめ、発表する	1 報告作成方法	入手した情報を整理しまとめる力を身に着ける	3	
			2 報告作成	入手した情報について体系的に整理し知識を定着させる		
			3 報告発表	入手した情報を他者に効果的に説明、発表できる		
15	資料作成・発表(3)	校外研修の内容を資料にまとめ、発表する	1 報告作成方法	入手した情報を整理しまとめる力を身に着ける	3	
			2 報告作成	入手した情報について体系的に整理し知識を定着させる		
			3 報告発表	入手した情報を他者に効果的に説明、発表できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等